

第3次妙高市観光振興計画

～世界に誇れる観光地域づくりを進め、持続可能な観光の実現を図ります～



【妙高スノーリゾート】

新潟県 妙高市

目 次

第1章 第3次妙高市観光振興計画の基本事項	3
1 計画策定の趣旨	3
2 計画策定の概要	3
(1) 計画の期間	
(2) 計画の位置づけ	
第2章 妙高市の観光をめぐる状況	4
1 妙高市が誇れる地域資源	4
(1) 妙高山麓に広がる雄大な自然環境	4
(2) 妙高高原温泉郷（七五三の温泉地）	4
(3) 妙高山麓に広がる9つのスキー場「スキーの聖地 妙高」	5
(4) 妙高山麓の安全安心な地場の食材と郷土食	5
(5) 妙高山麓の歴史文化資源	5
2 第2次妙高市観光振興計画の評価	6
(1) 目標値の達成状況	6
(2) これまでの取組と成果	7
3 観光統計などの状況	13
(1) 観光入込客数の推移（年別）	13
(2) 観光入込客数の推移（月別）	13
(3) 平成30年市内宿泊者数	14
(4) 宿泊者数の他自治体との比較	14
(5) 平成30年外国人観光宿泊者数（推計）	15
(6) スキー観光入込客数の推移	16
(7) 観光消費	16
(8) 観光売上額・域内循環額	17
(9) 宿泊・飲食業における人口一人当たりの売上高の他自治体との比較	17
(10) 妙高市観光客満足度調査	18
(11) 妙高市二次交通一覧（令和元年度運行）	19
4 妙高市の観光の課題	20
(1) 四季を通じた観光誘客の推進	20
(2) 効果的な観光情報の発信	20
(3) 観光客受入体制の充実	20
(4) 観光基盤の整備	21
(5) 観光関連産業の活性化	22

第3章 計画の目標値と施策体系	23
1 計画における重点的取組の視点	23
2 目標値	23
3 施策体系	25
第4章 計画の具体的な施策の展開	26
◎基本方針1 観光地域づくりの実践	26
○主要施策1 多様な事業者と連携した観光地域づくり	26
(1) 戦略的な観光地域づくりの体制整備	26
(2) 観光客のニーズを捉えたサービスの企画・開発	28
(3) 観光消費につながるコンテンツづくり	29
(4) 効果的な観光情報の発信	30
○主要施策2 国際観光都市を目指した観光誘客の強化	32
(1) 外国人観光客の誘客拡大	32
(2) 外国人富裕層をターゲットにしたプロモーションの実施	33
(3) スキー場の戦略的な活性化	34
○主要施策3 新たな付加価値を生み出すツーリズムの確立	35
(1) 地域資源を活用した各種ツーリズムプログラムの充実	35
(2) 広域観光の推進	37
(3) 友好都市との交流促進	38
(4) 教育体験旅行の誘致	39
◎基本方針2 国際観光都市としての基盤整備	40
○主要施策1 観光客の受入体制の充実	40
(1) おもてなしの心によるリピーターの確保	40
(2) 二次交通の充実	41
(3) 快適な観光地としての環境づくり	43
(4) 安全・安心な地域製品の提供	44
(5) 観光客に対する安全・安心の確保	45
○主要施策2 観光施設の整備	46
(1) 国立公園 妙高の魅力向上	46
(2) 観光拠点施設などの整備	47
(3) 観光施設の適切な維持管理	49
(4) 自然環境の保護・保全	50
第5章 計画の推進体制	52
別紙 施策の体系図	53

第1章 第3次妙高市観光振興計画の基本事項

1 計画策定の趣旨

本市はこれまで、「生命地域の創造」をまちづくりの基本理念に、「人と自然にやさしいふれあい交流都市」を目指し、自然や歴史、文化、食、温泉などの妙高山麓の貴重な資源を活用しながら交流人口の拡大を図ってきました。併せて、平成27年度に第2次妙高市観光振興計画（以下、「前計画」という。）を策定し、観光振興による地域活性化や観光誘客の拡大に向けて各種施策を推進してきました。この間、北陸新幹線の開業や妙高戸隠連山国立公園の誕生を契機に国内外への観光プロモーションの強化を図るとともに、高谷池ヒュッテを拠点とした山岳観光地づくりや、道の駅あらいの拡張整備を行うなど、魅力ある観光拠点整備に取り組んできました。

これらの取組により外国人観光客数は増加してきていますが、全体の観光入込客数は、下げ止まりはしたものの横ばい傾向にあり、観光ニーズが多様化するなか、市の特性や資源を十分に活かし、妙高の知名度を高め、更なる交流人口の拡大につなげていく必要があります。また、今後の観光産業の活性化に向けて、多様な関係者を巻き込みながら、地域全体が一体となって観光地経営の視点に立ち、計画的に観光地域づくりに取り組む必要があります。

第3次妙高市観光振興計画（以下、「本計画」という。）は、令和2年度から始まる第3次妙高市総合計画に定める観光振興策を推進するため、市全体の取組の方向性を明確にするとともに、市民や観光地域づくりを担う一般社団法人妙高ツーリズムマネジメント（以下、「観光地域づくり法人」という。）や観光事業者などと、互いに連携して取り組むための計画として策定するものです。

2 計画策定の概要

(1) 計画の期間

本計画の期間は、第3次妙高市総合計画の期間に準じ、令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5年間とします。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、第3次妙高市総合計画における基本施策「世界に誇れる観光地域づくり」の実現に向けた実施計画として位置づけるものです。

第2章 妙高市の観光をめぐる状況

1 妙高市が誇れる地域資源

(1) 妙高山麓に広がる雄大な自然環境

本市は、妙高戸隠連山国立公園でのトレッキングや日本百名山の妙高山・火打山などへの登山、サイクリングやトレイルランニングなどのアウトドアスポーツをはじめ、自然環境を活用したアクティビティが魅力です。また、冷涼な気候や準高地などトレーニングに適した環境、質の高い多様な施設など、陸上をはじめとする様々なスポーツの練習環境に適しており、「合宿の郷 妙高」として人気があります。



【日本百名山火打山と高谷池】



【妙高高原スポーツ公園】

(2) 妙高高原温泉郷（七五三の温泉地）

妙高高原温泉郷は妙高山の麓にあり、赤倉、新赤倉、池の平、妙高、杉野沢、関、燕の7つの温泉地から成り立っています。これらの温泉地は、それぞれ泉質や湯の色が異なり、泉質が5種類、お湯の色は無色透明の他に白、赤、黒の3色が揃っており、「七五三の温泉地」とも言われています。また、温泉のバリエーションの豊富さに加え、温泉の入浴法や知識を提供する温泉ソムリエ発祥の地としての認知度も高まっています。



【白い湯 燕温泉】



【透明な湯 赤倉温泉】



【赤い湯 関温泉】



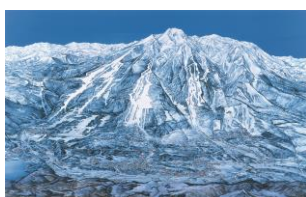
【黒い湯 池の平温泉】

(3) 妙高山麓に広がる9つのスキー場「スキーの聖地 妙高」

妙高山麓には、妙高杉ノ原スキー場、池の平温泉スキー場、赤倉観光リゾートスキー場、赤倉温泉スキー場、関温泉スキー場、休暇村ルンルンスキー場、妙高スキーパーク、斑尾高原スキー場、ロッテアライリゾートスキー場と9つのスキー場があり、豊富な積雪量「ディープスノー」や雪質の良さ「パウダースノー」が評判となり、近年では外国人観光客からも人気が高く「スキーの聖地 妙高」として、世界的に注目を集めています。



【パウダースノー】



【多種多様なスキー場】



【ナイタースキー場】

(4) 妙高山麓の安全安心な地場の食材と郷土食

妙高山麓直売センター「とまと」や、道の駅あらい「四季彩館ひだなん」などの直売所を中心に地元産の旬の農産物などが販売されており、生産者の顔が見える安全・安心な地場食材として、市内外のお客様から好評を得ています。また、笹笥寿司やたけのこ汁などの郷土料理のほか、日本酒やかんずりをはじめとした発酵食品も人気です。



【たけのこ汁】



【笹笥寿司】



【新鮮な高原野菜】

(5) 妙高山麓の歴史文化資源

上越妙高駅に最も近い史跡群として注目され、国指定の史跡が点在する「斐太歴史の里」や佐渡金銀山世界遺産登録に向けた一連の動きの中で注目されている北国街道、国指定名勝に指定された旧関山宝蔵院庭園などの歴史文化資源は、本市の貴重な観光資源になっています。



【続日本100名城 鮫ヶ尾城跡】



【関川関所道の歴史館】

2 第2次妙高市観光振興計画の評価

前計画においては、「四季を通じた観光誘客の推進」「効果的な観光情報の発信」「観光客受入体制の充実」「観光基盤の整備」の4つの主要施策に基づき、各種観光振興策に取り組んできました。

計画に掲げた事業86項目のうち、計画通りに継続して実施している事業は72項目、完了が10項目、未実施が4項目となっています。(再掲を除く)

前計画の目標値の達成状況並びに各主要施策のこれまでの取組と成果は、次のとおりです。

(1) 目標値の達成状況

指 標	現況値 (H25年)	目標値 (R1年)	現状値 (H30年)	達成率
① 年間観光入込客数	596万人	660万人	577万8000人	96.9%
② 外国人観光入込客数 (延べ宿泊者数)	1万9500人	3万人	5万9700人	199%
③ スキー観光入込客数	80万人	90万人	73万1000人	81.1%

【達成の要因】

①年間観光入込客数

北陸新幹線の開業や妙高戸隠連山国立公園の誕生、積極的なインバウンド事業の展開により660万人まで増加させるという目標を設定しましたが、特に、グリーンシーズンにおけるアクティビティの造成やプログラムの充実を図ることができなかつたため、落ち込みが大きくなり、577万8,000人(達成率96.9%)に留まりました。

②外国人観光入込客数(延べ宿泊者数)

オーストラリアを中心として増加が続くとともに、セールス活動などのプロモーションの成果により、台湾、香港などのアジア圏の入り込みも増加しており、平成27年には3万人の目標値を達成し、現在も増加傾向にあります。(達成率199%)

③スキー観光入込客数

スキー・スノーボード人口の減少や、レジャーの多様化により、入込客数が伸び悩む中、平成27年には55万9,000人まで減少しましたが、ロッテアライリゾートのオープンや外国人観光客の増加などにより、平成30年は、73万1,000人（達成率81.1%）まで回復してきているものの、目標には大きく届きませんでした。

（2）これまでの取組と成果

【主要施策1】四季を通じた観光誘客の推進

- ①観光地域づくりの舵取り役として、多様な業種で構成する観光地域づくり法人が発足し、平成30年12月には、観光庁から日本版DMOの登録認定を受け、観光産業の活性化を進めるための体制を構築しました。また、旅行業法に定める第3種旅行業登録を取得し、国内の旅行会社と連携した健康保養地プログラムの売り込みや、えちごトキめき鉄道とタイアップした妙高温泉列車などの着地型旅行商品を販売し、観光誘客を進めてきました。
- ②広域連携で開催している信越五岳トレイルランニングレースや妙高・野尻湖SEA TO SUMMIT（シートゥーサミット）、黒姫・妙高山麓大学駅伝大会などには約2,000人の参加者があり、妙高の知名度を高めるとともに、連泊による宿泊者数や観光売上額の拡大につながっています。また、長野県北信地域と連携して、ジャパンエコトラックに認定されたサイクルルートやスノーシュールートなどの受入環境を整備するとともに、広域観光ルートを活用した誘客促進を図りました。
- ③国内の友好都市とは、物産展などへの出展やスポーツイベントへの参加を通じて、相互交流を促進しました。また、妙高の自然環境を活かした冒険キャンプや健康ツアーには、毎年約170人が訪れており、交流の拡大が図られました。さらに、国外では姉妹都市であるスイスのツェルマット村やスロベニアのスロヴェニ・グラデツ市とは、中・高校生を主体とした相互交流のほか、妙高ライオンズクラブなどの市民レベルでの交流にも発展しました。
- ④外国人観光客の誘客では、観光地域づくり法人にインバウンド専門員を配置し、海外のプロモーション活動を強化しました。ホワイトシーズンの入込客数は、オーストラリアを中心に増えており、長野・新潟スノーアライアンス実行委員会※の調べでは、平成26年から平成30年までの5年間で約40%の伸び率となっています。一方、グリーンシーズンでは、農家民泊や各種体験プログラムなどを提供することで、台湾などからの受入れが拡大し、令和元年度では対前年比50%増の約2,300人泊となりました。

※ 長野・新潟スノーアライアンス実行委員会：信州・長野県観光協会と白馬村、山ノ内町、野沢温泉村、本市などの観光団体で構成するインバウンド誘客を目的とする団体。

⑤本市の自然環境、農業、芸術文化などを活かした各種ツーリズムを推進してきたほか、スポーツ等の合宿誘致を促進し、交流人口の拡大を図ってきました。スポーツ合宿については、毎年、良好な練習環境を求め多くの合宿者が訪れており、体育館や陸上競技場などの延べ利用者数は、年間約4万人となっています。また、農家民泊については、首都圏・関西圏などの旅行社や学校などを中心に誘致活動を進め、大規模校の教育体験旅行の誘致に結びつきました。

【期間中の取組事業】

具体的施策	具体的事業	取組の現状		
		完了	継続中	未実施
地域資源を活かした着地型旅行商品・プログラムの充実	市観光協会の組織体制強化 ※市観光協会は平成31年3月31日に解散	○		
	市観光協会自主事業	○		
	艸原祭事業		○	
	観光事業者ステップアップ応援事業		○	
	大規模イベント育成事業		○	
	観光マーケティング調査		○	
	外来生物駆除ツアー		○	
広域観光の推進	信越高原連絡協議会		○	
	信越9市町村広域観光連携会議		○	
	上越・糸魚川・妙高観光連携実行委員会	○		
	信越観光圏協議会	○		
	上越妙高駅などからの二次交通事業		○	
	観光情報誌の製作・配布やプロモーションの実施		○	
	広域連携による観光促進事業		○	
友好都市との交流の推進	友好都市との交流		○	
	「みょうこう健康ツアー」の実施		○	
	「みょうこう冒険キャンプ」の実施	○		
	国際姉妹都市との交流		○	
外国人観光客の誘客	外国人観光客の誘致		○	
	外国人観光客の受入体制の充実		○	
	スキーエリアシャトルバスの運行		○	
	外客誘致用ナイトシャトルバスの運行		○	
	妙高おもてなしプロジェクト			○

具体的施策	具体的事業	取組の現状		
		完了	継続中	未実施
スキー観光産業の活性化	スキー産業の活性化		○	
	スキーエリアシャトルバスの運行(再掲)		○	
	市観光協会による旅行商品の企画・販売	○		
	信越9市町村広域観光連携会議(再掲)		○	
	妙高市スキー場協議会		○	
環境教育・環境学習の推進による交流人口の拡大	エコトレッキングや親子自然教室の開催		○	
	国立公園に関するシンポジウムなどの開催		○	
	外来生物駆除ツアー(再掲)		○	
	妙高高原ビジターセンターバリューアップ事業	○		
都市と農村の交流拡大	農業体験受入体制の強化		○	
	受入農家に対する研修会の開催		○	
	農家民宿拡大支援		○	
	教育体験旅行の誘致活動拡大		○	
	妙高らしい体験プログラムの企画・実施		○	
	花畑の維持管理と活用		○	
	花まつりの開催		○	
ハートランド妙高周辺の魅力づくり		○		
スポーツ合宿などの誘致による交流人口の拡大	合宿誘致を促進する優遇策とPRの推進		○	
	トレーニングに適した施設の整備		○	
	文化系合宿の誘致		○	
地域の芸術文化資源を活かした交流人口の拡大	妙高の魅力を活かした芸術・文化事業の推進		○	
	北国街道沿線の歴史文化資源の掘り起しと磨き上げ		○	
	斐太遺跡群としての魅力の向上と情報発信		○	

【主要施策2】効果的な観光情報の発信

①妙高高原観光案内所では、観光案内をはじめ、各種パンフレットや「妙高ノート」「フェイスブック」などのSNS等を利用して、一元的な情報発信をしてきました。妙高ノートの2019年の閲覧者数は、約21万3,000人で前年に比べて24.8%増加しました。また、フォロワー数は、妙高ノート台湾版では約5,500人ありますが、日本版では2,400人と少ない状況となっています。

※ 妙高ノート:妙高市の最新ニュースや、旅行や観光に役立つ情報をテーマ別に発信する情報サイト。

② J R 東日本や J R 西日本、 N E X C O 東日本をはじめ、アウトドアメーカーなどとタイアップした各種 P R イベントへの参加、楽天トラベルやじゃらん N E T へのインターネット広告の掲載、海外メディアや外国人ブロガー等の招聘による妙高の魅力発信など、様々な媒体を活用したプロモーション活動を進めてきました。特に、首都圏や関西圏を重点に取り組んできたことから、東京都や大阪府からの妙高ノートの閲覧者数が増加しています。

③ えちご妙高会や妙高ファン倶楽部会員約 3, 0 0 0 人に対し、年 2 回のダイレクトメールの発送や、 S N S 等により、観光情報を発信することにより、口コミ効果による観光 P R やイメージアップを図りました。

【期間中の取組事業】

具体的施策	具体的事業	取組の現状		
		完了	継続中	未実施
観光プロモーションの充実	ポスターやパンフレットの製作・掲出		○	
	各種イベントや観光商談会への参加による P R		○	
	冬季案内パンフレットの製作・配布		○	
	サービスエリアなどによる情報発信		○	
電子媒体による情報発信の強化	スマホアプリ「妙高ナビ」による情報発信	○		
	インターネット広告によるプロモーション		○	
	観光情報メールの発信	○		
	S N S を活用した情報発信		○	
	市観光協会ホームページなどによる情報発信		○	
妙高にゆかりのある方々や市民による情報発信	「妙高ファン倶楽部」への情報提供		○	
	「妙高 P R 応援団」への情報提供	○		
	市民への情報発信		○	
	「えちご妙高会」との連携による情報発信		○	
	妙高山麓ゆめ基金		○	

【主要施策 3】観光客受入体制の充実

① 観光客の受入体制の強化により、全国各地の温泉地がエントリーした「温泉総選挙 2 0 1 7」の健康増進部門、絶景部門で 1 位に輝いたほか、新潟県観光地満足度調査の温泉地等別の満足度で平成 2 9 年から 2 年連続で 3 位となるなど、地域の満足度の向上やブランド化につながりました。

② 自然や登山、森林セラピー、歴史文化、健康保養地（クアオルト）など、多様な分野においてガイドを育成し、受入体制の充実を図りました。特に温泉ソムリエについては、熱海や草津、別府などの有名温泉地をはじめ、全国各地において毎年 5 0 回以上の認定セミナーを開

催し、これまでに約1万8,000人の温泉ソムリエが誕生し、全国で活動しています。

③市内周遊バスや上越妙高駅と各スキー場を結ぶシャトルバスなどの運行を支援するとともに、えちごトキめき鉄道やしなの鉄道による利便性を勘案したダイヤの見直しや民間バス事業者によるホワイトシーズンにおける広域圏周遊観光バスの運行など、交通事業者と連携して、観光客の回遊性を高めることで、二次交通の充実を図りました。

④観光地域づくり法人の食部会による新たなメニューの開発をはじめ、妙高高原商工会が中心となり、飲食店や宿泊施設約40軒が参加する「お山のとまと食堂」の実施することで、地域ぐるみで安全な地域食材を活用した地産地消の推進や地域の商工団体の連携によるおもてなしの意識の向上を図りました。

【期間中の取組事業】

具体的施策	具体的事業	取組の現状		
		完了	継続中	未実施
「おもてなしの心」によるリピーターの確保	市観光協会、旅館連合会、事業者が主体となったおもてなしの向上に向けた取組		○	
観光ガイドの育成・強化	市内ガイド団体・交通事業者向け研修会によるおもてなしの向上、スキルアップ		○	
	若年層による自然ガイドの養成と基盤づくり		○	
	温泉ソムリエを活用した誘客の推進		○	
二次交通の充実	北陸新幹線「長野駅ー上越妙高駅」間の二次交通の運行		○	
	北陸新幹線「飯山駅」からの二次交通の運行		○	
	並行在来線の利活用		○	
	上越妙高駅などからの二次交通事業（再掲）		○	
	ぶらっと妙高号の運行		○	
	スキーエリアシャトルバスの運行(再掲)		○	
	路線バスと周遊バスの連携		○	
安全・安心な地域産品のPR	地域産品の「妙高あっぱれ逸品」への認定		○	
	郷土食を活用したPR		○	
	観光事業者と農業者との連携		○	
	妙高のお土産品開発		○	

【主要施策4】観光基盤の整備

- ①本格的な山岳リゾートの確立に向けて、高谷池ヒュッテの増改築をはじめ、登山道やトレイルランニングコース、公衆トイレの改修など、各種観光施設の整備を行ってきました。また、令和2年度から環境省直轄事業として行う、妙高戸隠連山国立公園の新たなビジターセンターの整備に向けて、周辺環境の整備に着手しました。
- ②年間300万人の利用者がある「道の駅あらい」について、防災機能の強化をはじめ、慢性的な駐車場不足の解消、外国人観光客の誘客拡大のほか、手狭となっている農産物直売所の機能充実を図るため、新たな施設を東側エリアに拡張整備しました。
- ③国立公園妙高への理解と関心を高めるため、エコツアーやライチョウシンポジウムなどを開催し、市民の自然環境保全意識の向上を図りました。特に、絶滅の危機にある「火打山のライチョウ」を救うため、クラウドファンディング※を実施し、全国の方々から調査保護活動に対して応援を頂きました。また、利用者負担による保全の仕組みをめざし、入域料の令和2年度からの本格導入に向けた社会実験を実施しました。

【期間中の取組事業】

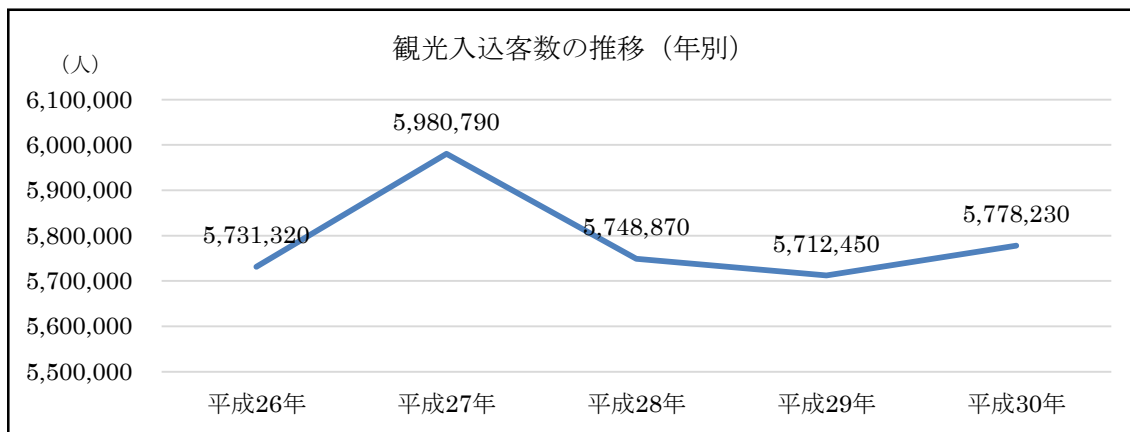
具体的施策	具体的事業	取組の現状		
		完了	継続中	未実施
観光拠点施設などの整備	新国立公園計画に基づく施設整備		○	
	観光案内看板の整備		○	
	公衆トイレの改修整備		○	
	登山道などの整備		○	
	道の駅あらい整備事業		○	
地元住民などと連携した適切な維持管理	公衆トイレや登山道などの観光施設の維持管理		○	
	鉱泉源の保護管理施設整備事業		○	
民間事業者などとの連携による新たな魅力づくり	観光案内看板の整備		○	
	施設の運営管理の充実（指定管理など）		○	
	新たな観光施設の整備		○	
国立公園 妙高の魅力向上	協働型の管理運営組織の設置			○
	国際的な生物圏保存地域に向けた取組			○
	ツーリストサポーターの育成			○
	妙高戸隠連山国立公園の市民への意識啓発		○	
貴重な動植物の保護対策	自然環境の保護、保全活動の取組		○	
	高山植物の盗掘防止対策		○	

※ クラウドファンディング:不特定多数の人がインターネット経由で他の人々に財的支援や協力を行うこと。

3 観光統計などの状況

(1) 観光入込客数の推移（年別）

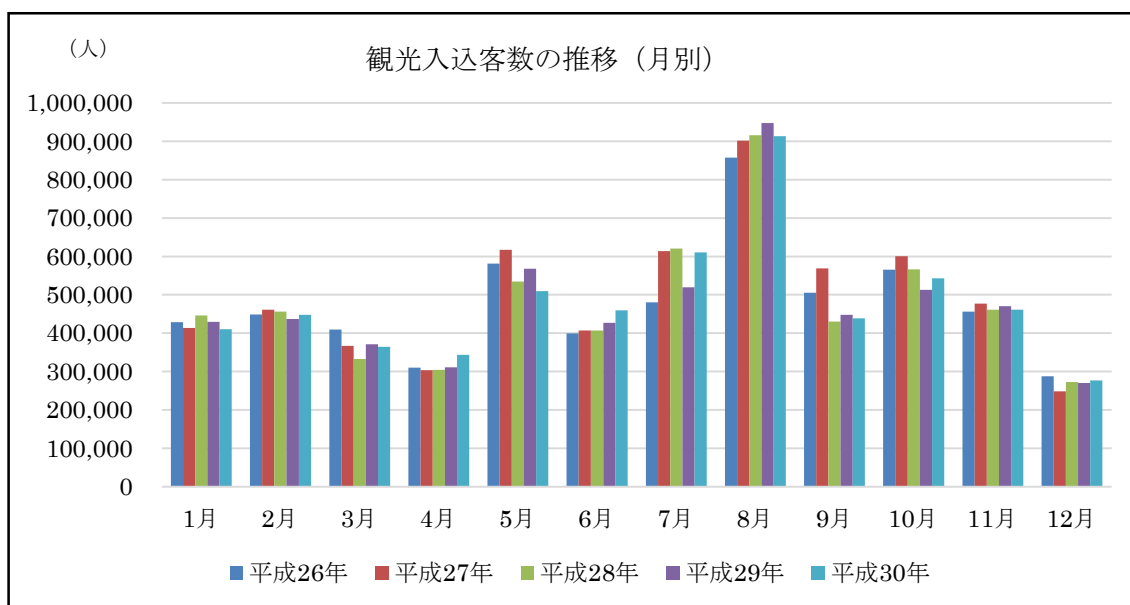
- ・年間の入込客数については、平成27年は北陸新幹線開業や妙高戸隠連山国立公園の誕生を受け、600万人に近づきましたが、それ以降は、570万人前後で推移しています。



※新潟県観光入込客統計調査に基づく妙高市調べ

(2) 観光入込客数の推移（月別）

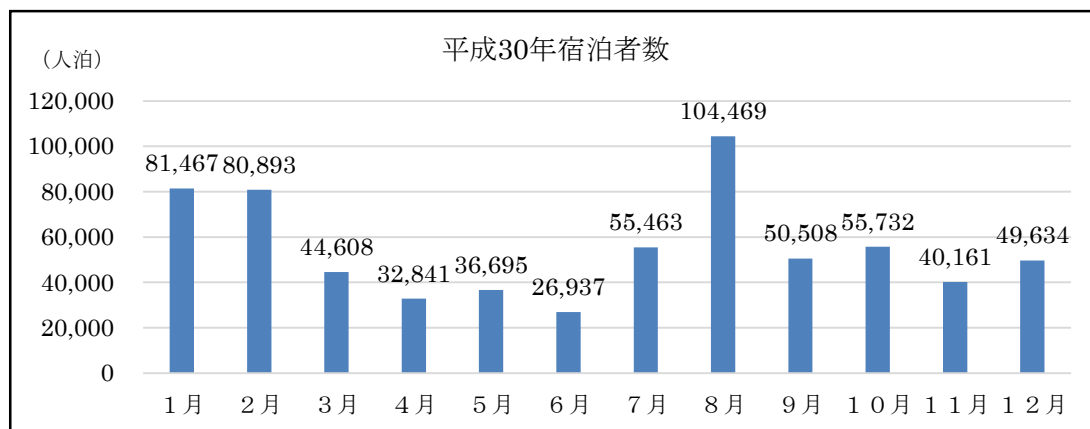
- ・月別に入込客数については、8月が最も多くなっています。8月は、スポーツ合宿をはじめ、笹ヶ峰高原や苗名滝などへの観光客、長野方面からの海水浴客の道の駅あらいへの立ち寄りが増え、入込客数が多くなっています。



※新潟県観光入込客統計調査、妙高市調べ

(3) 平成30年市内宿泊者数

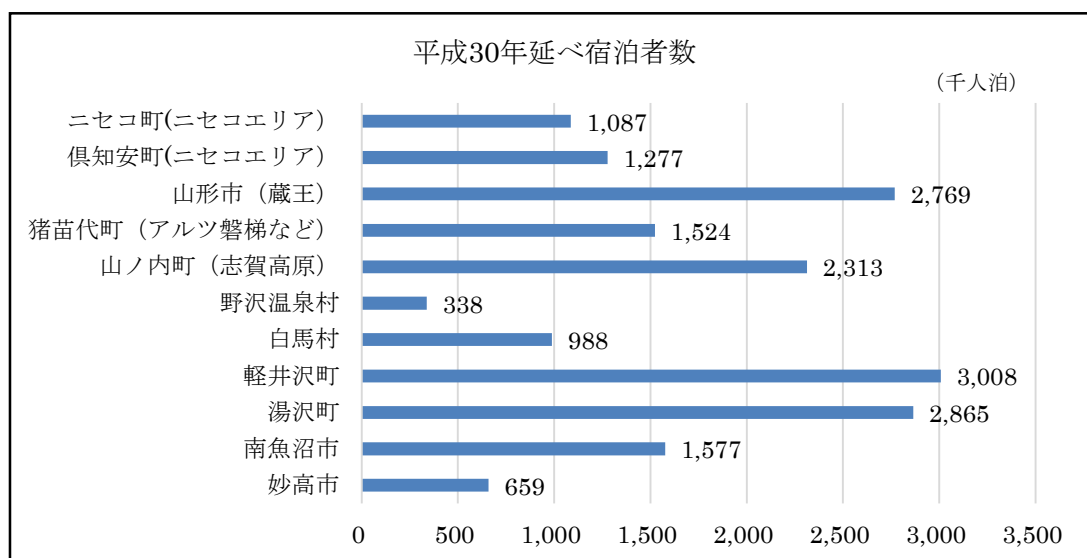
- ・平成30年の延べ宿泊者数は、全体で約66万人泊となっており、8月が10万人泊を超えて最も多く、次に1月、2月が8万人泊を超えています。また、最も少ないのが6月で、次が4月、5月となっており、6月と8月では4倍近い差があります。
- ・観光産業の安定化のためには、グリーンシーズンの誘客を促進し、宿泊客の底上げを図り、平準化していく必要があります。



※観光地域づくり法人調べ

(4) 宿泊者数の他自治体との比較

- ・全国のスノーリゾートを有する自治体と比較すると、本市の観光入込客数は多いものの、宿泊者数は低い水準にあります。
- ・日帰り客が多いことや、収容人員の少ない宿泊施設が多いことが、要因の一つであると推察されます。

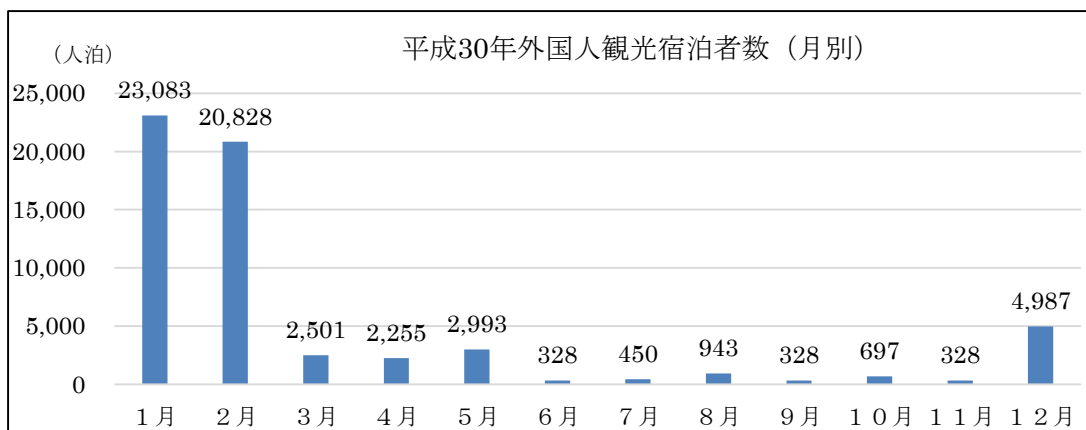


※リーサス(地域経済分析システム)及び各自治体統計より

(5) 平成30年外国人観光宿泊者数（推計）

①月別

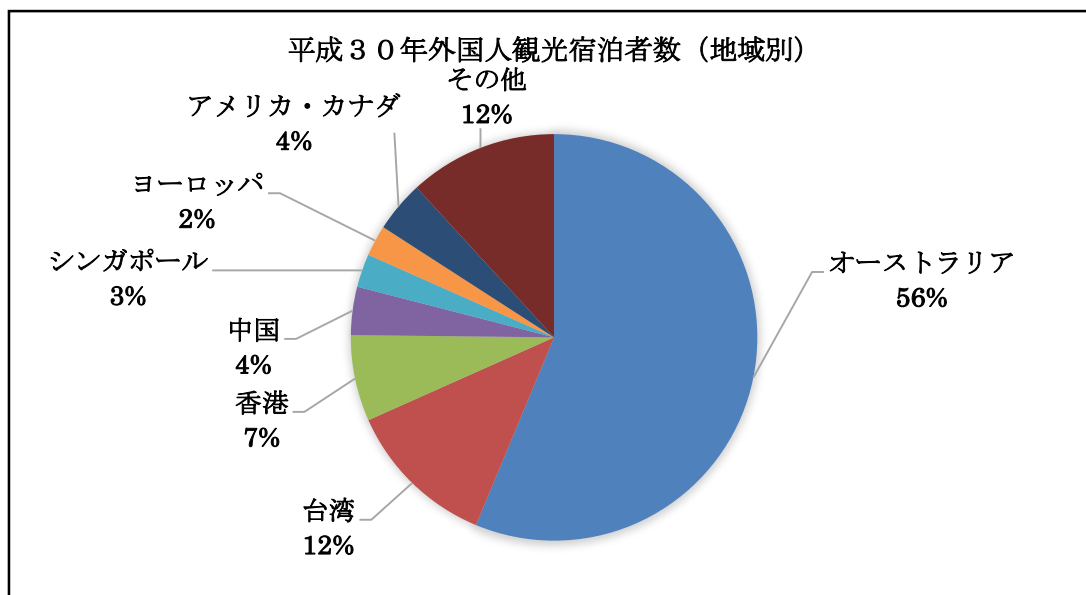
- ・平成30年の外国人観光客の延べ宿泊者数は、約6万人で、スキーのトップシーズンである1月、2月に集中しており、それ以外の月は少ない状況です。



※観光地域づくり法人調べ

②国別

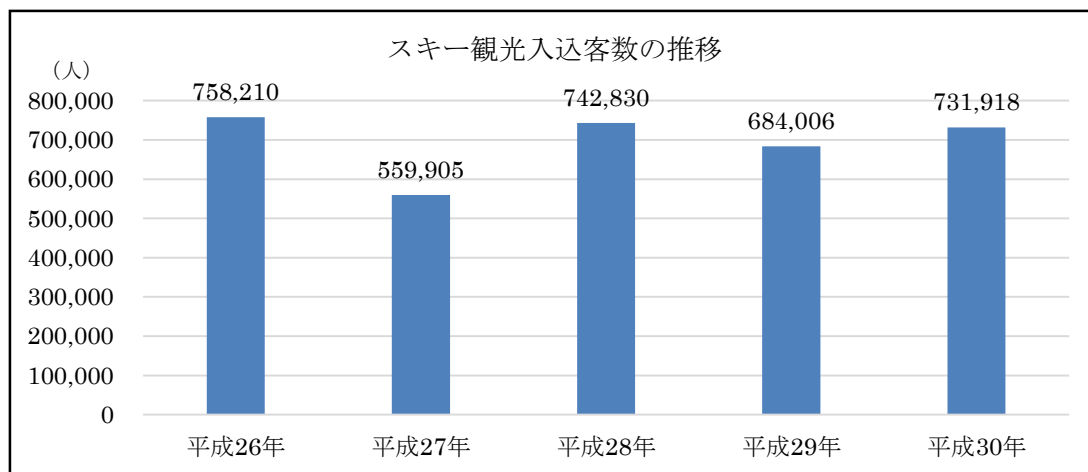
- ・外国人観光客を国別で見ると、オーストラリアが56%と非常に大きな割合を占め、続いて、台湾、香港、中国が上位となっており、アジア圏からの来訪が増えてきています。



※観光地域づくり法人調べ

(6) スキー観光入込客数の推移

- 平成27年は、少雪により入込客数は約56万人まで落ち込みましたが、平成30年は、ロッテアライリゾートのオープンもあり73万人を上回りました。近年は、妙高エリアの特徴である「ディープスノー」「パウダースノー」を求め、多くの外国人が本市を訪れています。



※新潟県観光入込客統計調査、妙高市調べ

(7) 観光消費額

- 本市を訪れる観光客の消費額は、全国平均と比べると低い状況にあり、日帰り客、宿泊客ともに、グリーンシーズンよりもホワイトシーズンの消費額が高い傾向にあります。
- ホワイトシーズンの宿泊費が低い理由として、妙高メガボックスなど格安旅行プランや学生などのスキー研修による宿泊が多いものと推察されます。

単位：円/人

種別	日帰り		宿泊	
	4月～11月	12月～3月	4月～11月	12月～3月
交通費	2,086	4,800	7,472	9,763
宿泊費	-	-	15,799	13,527
土産代	1,726	901	3,761	2,220
飲食費	1,350	1,207	3,820	2,584
入場料	1,410	7,570	1,955	6,995
その他	856	0	4,259	14,500
計	7,428	14,478	37,066	49,589
【参考】 全国平均	17,285		54,300	

※観光地域づくり法人調べ

(8) 観光売上額・域内循環額

- ・観光売上額は年々増加し、平成30年は116億4,300万円となっています。外国人観光客の増加や新たなリゾート施設のオープンなどが、宿泊日数や飲食による消費拡大につながったと推察されます。

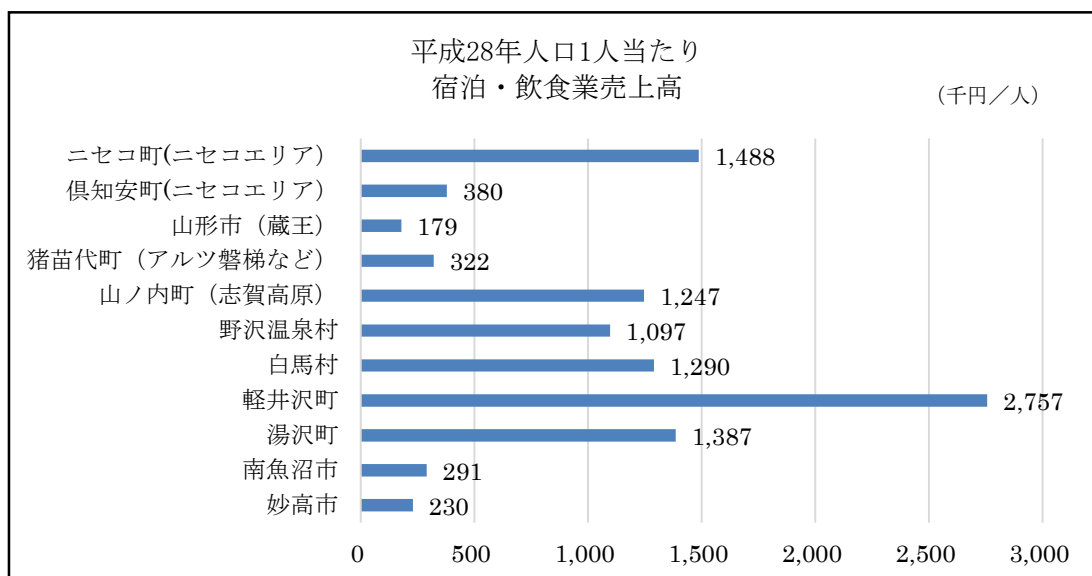
単位:百万円

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
観光売上額	5,362	6,499	6,767	11,643
域内循環額	901	1,092	1,150	1,979

※観光地域づくり法人調べ

(9) 宿泊・飲食業における人口一人当たりの売上高の他自治体との比較

- ・全国のスノーリゾートを有する自治体と比較すると、人口一人当たりの宿泊・飲食業の観光売上額では大きく差が開いています。



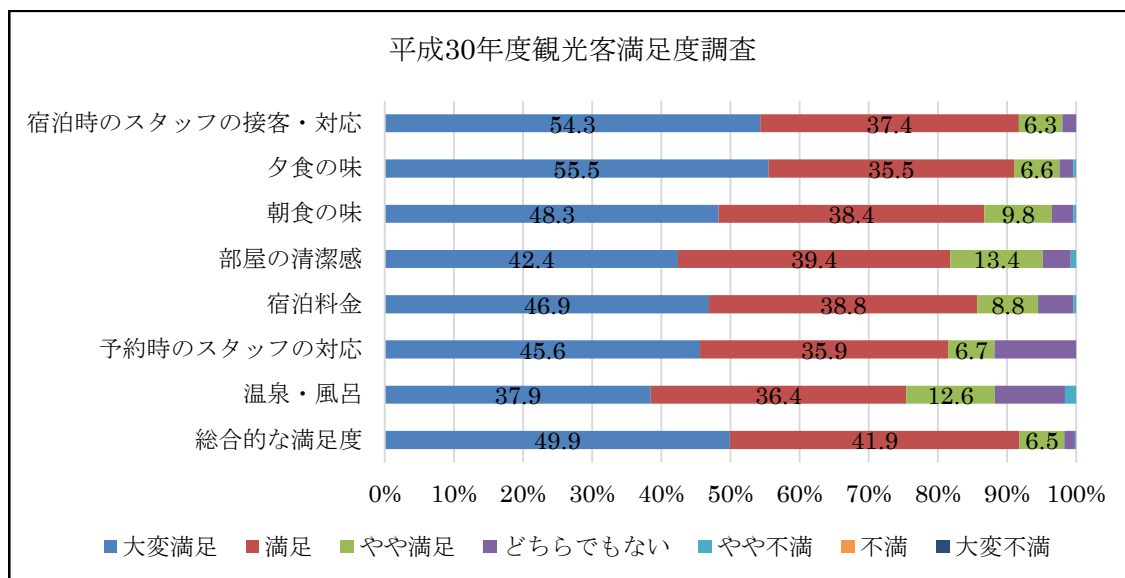
※リーサス及び各自治体統計より

※(8) 観光売上額については、観光地域づくり法人の調査による市内すべての業種における観光売上額を示したものです。

※(9) 観光売上高については、国のRESAS(地域経済分析システム)による宿泊・飲食業の人口一人当たりの観光売上高を示したものです。

(10) 妙高市観光客満足度調査

- 平成30年度に実施した市内の宿泊施設を利用した観光客への満足度アンケートでは、「宿泊時のスタッフの接客・対応」や「夕食の味」「朝食の味」などで『満足』（「大変満足」＋「満足」＋「やや満足」）の割合が高くなっており、総合的な満足度では、約半数近くのかたが大変満足としています。一方、「温泉・風呂」の施設・設備に対する不満の割合が多くなっているほか、スタッフの対応への不満の声も自由意見として寄せられています。



※観光地域づくり法人調べ

(11) 妙高市二次交通一覧（令和元年度運行）

※は、交通事業者

	路線（名）	便数	主なルート	運行期間
1	妙高高原ライナー （夏～秋） ※頸南バス	6便	上越妙高駅～道の駅あらい～直売センター とまと～赤倉温泉バス停～赤倉観光リゾート ～ランドマーク妙高高原～池の平いもり 池入口～杉野沢入口～苗名滝	8/3～11/10 土日祝
	妙高高原ライナー （冬） ※頸南バス	8便	上越妙高駅～道の駅あらい～直売センター とまと～赤倉温泉バス停～赤倉観光リゾート ～ランドマーク妙高高原～池の平いもり 池入口～杉野沢入口～妙高杉ノ原スキー場	12/21～3/15 毎日
2	妙高高原地域市営バス 「妙高山麓線」 ※妙高市	10便	アパリゾート上越妙高～関山駅～休暇村妙 高～関・燕温泉～赤倉足湯～妙高高原スカ イケーブル～いもり池入口～苗名滝	4/27～11/上旬 毎日
3	笹ヶ峰直行バス ※頸南バス	6便	妙高高原駅～妙高温泉～池の平いもり池入 口～笹ヶ峰	7/6～10/27 毎日
4	Mt. Myokoシ ャトルバス ※妙高ハブネット	24便	赤倉温泉～赤倉観光リゾート～ランドマー ク妙高高原～池の平温泉スキー場～池の平 温泉観光協会～杉野沢五叉路～妙高杉ノ原 スキー場	12/22～3/8 毎日
5	ロッテアライリゾート シャトルバス ※妙高ハブネット	10便	《赤倉温泉発》 赤倉温泉→赤倉観光リゾート→妙高高原バ スターミナル→関山駅→パストラーレ妙高 →ロッテアライリゾート（→道の駅あらい →上越妙高駅→高田駅） （ ）内は夕方のみ運行 《ロッテアライリゾート発》 ロッテアライリゾート→パストラーレ妙高 →関山駅→妙高高原バスターミナル→赤倉 観光リゾート→赤倉温泉	12/22～3/8 毎日
6	「赤倉温泉～斑尾高 原」シャトルバス ※妙高ハブネット	4便	赤倉温泉～赤倉観光リゾート～妙高高原バ スターミナル～タングラム斑尾～斑尾高原 ホテル	12/22～3/8 毎日
7	「赤倉温泉～野沢温 泉」シャトルバス ※妙高ハブネット	2便	野沢温泉～妙高高原バスターミナル～赤倉 観光リゾート～赤倉温泉	12/22～3/8 毎日
8	長野スノーシャトル 「赤倉温泉～長野～ 羽田・成田」 ※JHN Travel	7便	赤倉温泉～長野～羽田空港・成田空港	12/23～ 3/1 予約制
9	「富山空港シャトル サービス」 ※妙高ハブネット	1便	赤倉温泉～赤倉観光リゾート～妙高高原バ スターミナル～ロッテアライリゾート～上 越妙高駅～富山空港	予約制
10	「新潟空港シャトル サービス」 ※妙高ハブネット	1便	赤倉温泉～赤倉観光リゾート～妙高高原バ スターミナル～ロッテアライリゾート～新 潟空港	予約制

4 妙高市の観光の課題

前計画の成果や観光統計などの状況を踏まえ、今後の観光振興に向けた課題を次のとおり整理しました。

(1) 四季を通じた観光誘客の推進

【観光誘客の推進】

- ・観光入込客数の増加に向けて、今後も国立公園妙高を軸とした積極的なプロモーション活動に取り組むとともに、妙高ならではの多様な観光資源を活用した各種ツーリズム事業の展開、外国人観光客の誘客拡大、国内外の友好都市との交流活動を一層推進するなど、四季を通して観光客を呼び込むための戦略が必要です。

【外国人観光客の誘客】

- ・海外への誘客プロモーションに取り組んできた結果、外国人観光客は増加していますが、更なる誘客に向けて、今後は、2022年開催の冬季北京オリンピックや2025年開催の日本国際博覧会（大阪・関西万博）を視野に入れ、アジア圏からの誘客を促進していく必要があります。
- ・グリーンシーズンの誘客については、トレッキングやサイクリングなどのアクティビティの充実、田舎暮らし体験ができる農家民泊などの拡大のほか、ストーリー性のある観光資源をつなぎ合わせて、地域全体の魅力を高め、発信していくことが求められています。

(2) 効果的な観光情報の発信

- ・若い世代や外国人観光客は、観光地で観光情報を直接入手する機会や、SNS等を活用し、自ら観光地情報を発信する機会が増えていることから、こうしたニーズに対応できるWi-Fi環境の充実に加え、旅行者の情報発信の機会を高める取組のほか、発信力のあるブロガーやインフルエンサーを活用した情報発信を行う必要があります。
- ・妙高ノートの改良により、外国人観光客の増加に合わせた多言語対応やコンテンツの充実を図っていくとともに、5G（第5世代移動通信システム）※の時代を見据え、高精細映像を活用して旅の感動を生むなど、最新のICTを活用した環境づくりを進める必要があります。

(3) 観光客受入体制の充実

【おもてなしの心の醸成】

- ・観光客の満足度向上を目指すには、宿泊施設における料理や接客などのサービス水準をより高めていく必要があります。

※ 5G:「第5世代移動通信システム」などと訳されており、通信速度が従来の技術よりもはるかに速くなると期待されているシステム。

- ・市民が自ら住む地域の魅力を認識し自慢できるよう、地域への誇りと愛着を醸成するとともに、観光案内の重要な担い手である観光ボランティアなどの人材育成への支援を行うなど、おもてなし力の底上げを図る必要があります。

【関係人口の拡大に向けた受皿づくり】

- ・働き方改革の一環として、ワーケーション※を導入する企業が増えてきており、本市への新たな人の流れを創出するため、ワーケーションの受皿整備を行い、魅力を高め関係人口の拡大を図る必要があります。

【二次交通の充実】

- ・二次交通は、外国人観光客や高齢者など、マイカー利用以外の観光客にとって、主要駅や温泉、観光施設間などをつなぐ交通手段として大変重要です。
- ・市内周遊バスや上越妙高駅と観光スポットをつなぐバス運行等により、回遊性を高めましたが、繁忙期における運行本数や利便性が不十分なため、輸送体制を充実していく必要があります。併せて、宿泊拠点としての付加価値を高めるため、周遊や滞在型観光を促す利便性の高い二次交通の充実を図る必要があります。

(4) 観光基盤の整備

【観光施設整備】

- ・山岳リゾートづくりを進めるため、増築された高谷池ヒュッテの魅力を発信していくとともに、笹ヶ峰高原のアクティビティエリアや常設トレイルランニングコースの整備をはじめ、登山道等の適切な維持管理を行いながら、施設利用者の増加を図る必要があります。また、環境省直轄で進めている新ビジターセンターの整備に合わせ、観光客が快適に利用できるよう、いもり池周辺の環境整備に取り組む必要があります。
- ・道の駅あらいについては、地域の農業振興、観光交流拠点としての役割を果たすとともに、外国人観光客の受入拠点として、更なる観光誘客を進めていく必要があります。

【スノーリゾートの環境整備】

- ・本市のパウダースノーは、外国人から高い評価を得ていますが、キャッシュレス対応や多言語対応の遅れ、リフト・ゴンドラ等施設の老朽化、ナイトライフ・アフタースキーの受入場所が少ないなど、スノーリゾートとしての課題が顕在化しています。
- ・ホワイトシーズンは、オーストラリアをはじめとした外国人観光客のスキー客が長期滞在するケースが多く、受入れできるホテルや旅館がほぼ満室状態になっているため、質の高い宿泊施設の誘致のほか、民間事業者などとの連携により、上質なスキー場施設の整備や多言語対応、街なかの環境整備などを推進し、世界水準の滞在型観光地づくりに取り組む必要があります。

※ ワーケーション: インターネット環境などを活用し、普段の職場や居住地から離れ、リゾート地や温泉地をはじめ全国の地域で、仕事を継続しつつ、その地域ならではの活動を行うこと。

(5) 観光関連産業の活性化

- ・現在、観光地域づくり法人が、地域の多様な関係者ととも、「稼げる」観光地域づくりを進めていますが、観光マーケティング戦略を推進できる体制を整え、戦略的な観光施策の展開を図り、観光誘客の拡大効果を地域経済へ波及させていく必要があります。
- ・全国のスノーリゾートを有する自治体と比較すると、観光入込客数は上位に位置しているものの、宿泊者数や人口当たり観光売上額では大きく差が開いており、本市の強みである豊かな自然や食の魅力などの地域資源を活かし、宿泊客数や観光売上額を増やすことが必要です。
- ・旅行者による地域経済への波及効果を拡大するため、本市だけではなく周辺地域の観光地等と連携した周遊ルートの造成などにより、宿泊日数や滞在時間の増加を図る必要があります。
- ・観光消費につながるコンテンツづくりや、本市ならではの付加価値の高い特産品開発など、観光消費額の増大に向けた仕組みづくりが必要です。

第3章 計画の目標値と施策体系

1 計画における重点的取組の視点

「世界に跨れる観光地域づくりを進め、持続可能な観光の実現を図ります」

近年、訪日外国人旅行者数が急増しており、2019年は約3,188万人に、また、観光消費額も4.8兆円に達しています。賑わいや雇用の創出、経済の活性化など観光のもたらすメリットは大きく、観光はまさに「地方創生」の切り札となっております。

一方、2015年の国連サミットにおいて、17のゴール、169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されるとともに、2017年を「開発のための持続可能な観光の国際年」と定め、これを主導する国連世界観光機関（UNWTO）では、持続可能な観光を、「訪問客、産業、環境、受入地域の需要に適合しつつ、現在と未来の経済、社会、環境への影響に十分配慮した観光」とし、「環境」、「経済」、「地域社会」の3つの側面において適切なバランスが保たれることが持続可能な観光の実現にとって重要であるとしています。

本市においても、急速な少子高齢化により今後さらに人口減少が見込まれる中、持続可能な観光地づくりを実現していくためには、自然環境の保全、歴史文化遺産の保護・継承、労働環境の改善などにも配慮しつつ、観光消費額を引き上げることで、地域経済を活性化し、雇用創出につなげていく必要があります。

本計画では、観光施策の推進をSDGs達成へとつなげていくとともに、SDGsの取組視点と同様に、様々な主体と連携しながら、将来の世代に豊かな環境を残し、持続可能な観光地域づくりを進めます。



2 目標値

観光庁が推進している日本版DMO登録においては、目標達成に向けて、業務プロセスや進捗状況を把握するKPI※1を設定し、PDCAサイクル※2のもと業務を改善していく必要があります。

その際に、必要となる指標として、「観光入込客数」「観光消費額」「満足度」を本計画の目標値とします。

※1 KPI: 主要業績評価指標 (Key Performance Indicator) の略語。

※2 PDCA サイクル: Plan (計画)、Do (実施)、Check (評価)、Action (改善) の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。

目標値 1：観光入込客数

項目	指標の説明	現状値(H30)	目標値(R6)
観光入込客数	年間観光客来訪者数	577万8000人	600万人以上

本市の観光入込客数は、平成27年から平成30年において、571万人から598万人の間で推移しています。

今後は、本格的な山岳リゾートの確立や外国人観光客の誘客強化を基軸とした交流人口の拡大に取り組むことにより、令和6年には600万人以上とします。

目標値 2：年間観光売上額

項目	指標の説明	現状値(H30)	目標値(R6)
年間観光売上額 (観光消費額)	観光消費額	116億4300万円	140億円以上

日本版DMO登録における計画推進の目安(KPI)の一つである「旅行消費額」は、算定ベースとなる観光客一人あたりの消費支出額を把握し、地域全体の観光消費額の目標値を設定し比較するものです。

現状では、平成30年の観光消費額は、116億4,300万円となっていますが、観光地域づくり法人を核として、稼げる観光地を確立していくことで、令和6年には140億円以上とします。

目標値 3：宿泊施設の満足度

項目	指標の説明	現状値(H30)	目標値(R6)
妙高高原温泉郷の満足度	満足度調査における妙高高原温泉郷の総合的な満足度が「大変満足」の割合	49.9%	60.0%以上

日本版DMO登録における計画推進の目安(KPI)の一つである「満足度」は、観光庁「観光客満足度調査のススメ」を基に調査し、妙高高原温泉郷の総合的な満足度が「大変満足」の割合について、目標値を設定し比較するものです。

現状では、平成30年の満足度が49.9%となっていますが、国内外から観光に訪れるお客様が快適に滞在できるよう受入体制を強化することで、令和6年には60%以上とします。

3 施策体系

第3次妙高市総合計画の基本施策である「世界に誇れる観光地域づくり」の実現に向け、「観光地域づくりの実践」「国際観光都市としての基盤整備」を基本方針として、次の体系により施策、事業を展開します。

基本方針1 観光地域づくりの実践

妙高ならではの魅力（自然・温泉・食・歴史文化）を国内外に発信するとともに、多様な観光コンテンツを生み出すことで、世界に誇れる観光地域を作り上げ、観光誘客の拡大を図り、観光を基軸とした地方創生を目指します。

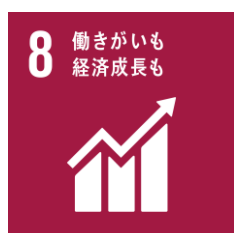
【関連するSDGsの目標】



基本方針2 国際観光都市としての基盤整備

国内外からの観光客が快適に滞在できるよう、受入体制を強化するとともに、世界から選ばれる国際観光都市としての基盤整備と体験型観光の発掘・磨き上げに取り組みます。

【関連するSDGsの目標】



※詳細は、別紙 施策の体系図（53ページ）のとおり

第4章 計画の具体的な施策の展開

基本方針1 観光地域づくりの実践

主要施策1 多様な事業者と連携した観光地域づくり

【施策の方向】

観光関連データの収集や分析に基づき、施策の立案と実行、評価検証を行いながら、国内のみならず海外からの誘客を視野に入れた観光戦略を推進します。

また、観光地域づくり法人を中心として、観光や交通、農業、商工業など地域の多様な事業者が、観光客のニーズを捉えたサービスの企画・開発などを一体的な取組として進めることで、観光資源を活かした経済の活性化を図ります。

【施策の目標値】

項目	指標の説明	現況値 (H30)	目標値 (R6)
観光コーディネーター数	観光コーディネーターの数	1人	3人以上
域内循環額	観光産業による域内循環額	19億79百万円	30億万円以上

【具体的な施策と事業】

(1) 戦略的な観光地域づくりの体制整備

① 観光コーディネーター人材の育成・確保

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 観光地域づくり法人の観光コーディネーター人材を育成・確保し、稼げる観光地づくりに向けた企画・営業力の強化を図るとともに、主体的な事業を推進できる人的体制を強化します。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> 観光地域づくり法人の基盤強化（会員の確保、観光コーディネーターの育成など） ㊦旅行会社との連携によるマネジメントや旅行専門家の確保（コーディネーター1人、マネジメント1人、マーケティング1人） 稼げる観光地づくりに向けた各種調査研究や企画・営業力の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ○市

※主な事業主体の凡例 ◎:主体 ○連携

②観光マーケティングの実践

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 観光情報の収集や観光統計・ビッグデータの分析などを行うとともに、ターゲット別のきめ細かなプロモーションを展開し、選ばれ続ける観光地域づくりを進めます。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> 観光情報及び観光統計、ビッグデータなどの各種マーケティング調査・分析 顧客管理システムの分析 観光戦略に基づくプロモーションの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ○市

③観光地域づくり法人の自主事業の強化

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 観光地域づくり法人として、観光施設の管理をはじめ、着地型旅行商品の企画・販売など、地域に根差した公益性のある営利事業に取り組みます。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> 各種観光施設などの維持管理 着地型旅行商品などの企画・販売 個人、団体旅行などの配宿手配 共通リフト券やオリジナルグッズなどの販売 ☎DMC※の設立検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人



【新設された妙高高原観光案内所】



【各種観光案内やアクティビティを紹介】

※DMC: Destination Management Company (デスティネーション・マネージメント・カンパニー)の略。本地域の観光資源に精通し、地域と協働して観光地域づくりを行う企業体。

(2) 観光客のニーズを捉えたサービスの企画・開発

① 着地型旅行商品の販売促進

事業概要	
<p>・妙高の自然、温泉、食などの地域資源を組み合わせたツアーや体験プログラムの充実を図るとともに、宿泊施設、交通事業者と連携した着地型旅行商品を企画・販売することで観光誘客を促進します。</p>	
主な取組内容	主な実施主体
<p>・着地型旅行商品の企画・販売（気候療法ウォーキングや温泉水中運動などを組み合わせた健康保養地プログラム、温泉ソムリエ資格の認定プログラム、リゾート電車「雪月花」を活用したプログラム、えちごトキめき鉄道と連携した温泉列車プログラムなど）</p>	<p>◎観光地域づくり法人 ○観光事業者 ○交通事業者</p>

② グリーンシーズンにおけるアクティビティの充実

事業概要	
<p>・登山、トレッキング、サイクリングなどの各種アクティビティの充実や、サイクリングコースやキャンプ場などアウトドアに関する受入体制などの強化により、グリーンシーズンの誘客を拡大します。</p>	
主な取組内容	主な実施主体
<p>・アクティビティの充実（クアオルト体験、森林セラピー体験、カヌー体験など） ㊦ 自転車を活用したまちづくりの推進（E-BIKE※1の導入検討、サイクリングコースの整備、シェアサイクルの検討、自転車イベントの開催など） ㊦ アウトドアに関する受入体制の強化（グランピング施設※2の誘致、アウトドアショップの誘致など）</p>	<p>◎観光地域づくり法人 ◎観光事業者 ○市 ○広域連携組織</p>



【健康保養地プログラム】



【妙高・野尻湖SEA TO SUMMIT】

※1 E-BIKE:スポーツタイプの電動アシスト自転車。

※2 グランピング:グラマラス(魅惑的な)とキャンピングを掛け合わせた造語で、旅行者からテント設営や食事の準備などを解放した「良い所取りの自然体験」。

③各種イベントの開催による誘客の推進

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 観光地域づくり法人や観光事業者などが主体となり、四季を通じた誘客イベントを行うことで、本市の魅力を創出します。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> 各種イベントの開催（艸原祭、火祭り、あらいまつり、ダイナマイトカーニバルなど） 観光事業者による各種イベントの開催（花火大会、野外音楽イベント、食イベント、芸術祭など） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ◎観光事業者 ○市

(3)観光消費につながるコンテンツづくり

①地域の観光資源と合わせた宿泊施設の魅力発信

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 市内の多様な宿泊施設の魅力を発信するとともに、地域資源を活用した体験コンテンツやグルメなどにつなげることにより、周遊観光、長期滞在を促し、宿泊客数の増加を目指します。 宿泊施設などにおける地域食材を活かした新たな「食」の魅力づくりを行います。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活用した体験コンテンツの造成（笹簀寿司などの調理体験、スゲ細工などのクラフト体験、高原野菜収穫などの農業体験など） 地域食材を活用した食事メニューの提供（朝ごはんプロジェクト、郷土汁プロジェクト、お山のとまと食堂など） 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくり法人 ◎観光事業者 ◎商工事業者 ◎農業者

②ナイトタイムエコノミー※、早朝型の観光の推進

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 夜間や早朝の時間にも観光客が楽しむことができる観光コンテンツの発掘、磨き上げを行い、滞在日数や消費単価の増加を促進します。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ㊦ ナイトタイムエコノミーに向けたコンテンツ造成（居酒屋横丁の整備検討、雪酒 BAR の設置、星空観覧会、イルミネーションなど） ㊦ 早朝型観光コンテンツの造成（ご来光・雲海見学、自然観察、朝採り野菜のもぎ取り体験、朝ヨガ、クアオルトウォーキングなどウェルネス体験など） 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくり法人 ◎観光事業者 ○商工事業者 ○農業者 ○市

※ ナイトタイムエコノミー：夜間（日没から日の出まで）の経済活動のこと。

③ 高付加価値の体験型コンテンツの発掘・磨き上げ

事業概要	
<p>・ 宿泊施設と連携して、景観や健康、美容、美食など、最高級の地域資源を組み合わせた体験プログラムの造成と磨き上げを行い、国内外からの富裕層の誘客を図ります。</p>	
主な取組内容	主な実施主体
<p>⑧ 高付加価値の体験型プログラムの造成（ヘリコプターなどによる絶景見学ツアー、エステと美食を組み合わせた美容プランなど）</p>	<p>◎ 観光地域づくり法人 ◎ 観光事業者</p>

(4) 効果的な観光情報の発信

① SNS等を活用した観光情報の発信

事業概要	
<p>・ 妙高ノートなどを活用し、観光客が必要とするタイムリーな情報を発信するとともに、SNSを活用した口コミや、観光客自らのSNSツールで発信を促すことで、観光情報の拡散を図ります。</p>	
主な取組内容	主な実施主体
<p>・ 妙高ノートなどによる定期的な情報発信 ・ YouTube による動画コンテンツの作成 ・ インフルエンサー※1やパワーブロガー※2などの招聘による情報拡散 ⑧ インスタ映えコンテストの開催 ⑧ 5Gを活用した観光体験などのコンテンツづくり</p>	<p>◎ 観光地域づくり法人 ○ 観光事業者 ○ 市</p>

② 外国語での観光情報の発信

事業概要	
<p>・ 日本語、英語、中国語（繁体字）の3カ国語に対応している妙高ノートの充実をはじめ、英語版の総合パンフレットや多言語解説ウェブの整備など、情報発信の強化を図ります。</p>	
主な取組内容	主な実施主体
<p>・ スキー場情報や飲食店、バスの時刻表などをまとめた英語版総合パンフレットの作成 ⑧ 多言語解説ウェブの整備（英語、中国語（繁体字、簡体字））</p>	<p>◎ 観光地域づくり法人 ○ 市</p>

※1 インフルエンサー：SNS等のインターネット上で消費者の購買意思決定に大きな影響を与える人物。

※2 パワーブロガー:ブログを情報発信のツールに使ったインフルエンサー。

③観光地としての知名度とブランドイメージの向上

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・「妙高」の知名度を向上させるため、戦略的にブランディング化を図り、観光ブランドイメージの定着による誘客の取り組みを進めます。 ・妙高にゆかりのある観光大使や観光PRキャラクター「ミョーコーさん」が、各種観光イベントへの参加やSNSによる情報発信を行うことで、妙高の観光イメージの向上を図ります。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・観光分野の専門人材からのアドバイスによる戦略的なブランディングの実施 ・市民、観光事業者等とのブランドコンセプトの共有 Ⓢ新湯治※や温泉総選挙などへの参加 ・観光大使の任命及び各種イベントへの参加 ・「ミョーコーさん」の各種イベントへの参加、SNS発信、オリジナルグッズの販売など 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくり法人 ○観光事業者 ◎市



【国立公園妙高のロゴ】



【妙高市観光PRキャラクター ミョーコーさん】

※ 新湯治:平成29年7月に環境省「自然等の地域資源を活かした温泉地の活性化に関する有識者会議」において提言され、現在のライフスタイルにあった温泉地の過ごし方を提案したもの。

主要施策2 国際観光都市を目指した観光誘客の強化

【施策の方向】

海外に向けた戦略的な誘客プロモーションや積極的なセールス活動により、ホワイトシーズンのみならず、グリーンシーズンの妙高の魅力を発信し、年間を通じた観光誘客を図ります。

また、年間を通して、観光消費額が多い外国人富裕層の誘客や滞在期間の長期化を目指し、観光事業者などと連携し、付加価値の高い体験型観光の提供や受入環境の整備を推進します。

【施策の目標値】

項目	指標の説明	現況値 (H30)	目標値 (R6)
外国人観光宿泊者数	外国人観光客の年間延べ宿泊者数	5万9700人	7万2000人以上

【具体的な施策と事業】

(1)外国人観光客の誘客拡大

①ターゲット国の設定による戦略的なプロモーションの推進

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客誘致に向けて、ターゲット国（オーストラリア、台湾、香港、中国、シンガポールなど）を設定し、県と連携しながら、商談会への参加やマスコミなどの招聘や誘致活動を行うとともに、現地旅行代理店等への観光情報の提供などによる旅行商品の企画・販売を促進し、個人旅行や団体旅行の誘致を図ります。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> 各種商談会への参加 海外メディア、マスコミなどの招聘 現地旅行代理店などでの営業活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ○市

②外国人観光客の属性に応じた旅行商品の企画・販売

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客の属性ごとに異なるニーズを調査し、それぞれのニーズに対応した観光コンテンツの整備、パッケージ化、商品化に取り組みます。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ターゲット国の外国人による地域資源の発掘やモニターツアーの実施 着地型旅行商品の企画・販売（妙高の秘湯と百名山登山ツアー、農家民泊ツアーなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ◎観光事業者

③外国人観光客の消費活動の促進

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 道の駅あらいをはじめとした市内の小売店や飲食店で、免税店の増設やキャッシュレス決済の導入などを進めることで、外国人観光客の利便性向上と消費の拡大を図ります。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ㊦免税店の新設に向けた支援 ・キャッシュレス決済の普及支援、利用可能店舗の把握や情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ○観光事業者 ○商工事業者 ◎市

(2)外国人富裕層をターゲットにしたプロモーションの実施

①外国人富裕層をターゲットにした情報発信

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 外国人富裕層の誘客に向け、旅行会社などと連携し、富裕層コミュニティのトレンドなどを踏まえた情報発信の強化を図ります。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ㊦富裕層旅行マーケットの現状把握 ㊦旅行会社と連携して富裕層に向けた情報発信の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ○観光事業者 ○市

②外国人富裕層が求める観光コンテンツの造成

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 外国人富裕層向けの受入体制の整備に加え、ラグジュアリーな体験※など、付加価値の高い観光コンテンツを造成し、プロモーションを推進します。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ㊦富裕層向けに対応できる観光コンシェルジュの育成 ㊦高付加価値の体験型プログラムの造成（ヘリコプターなどによる絶景見学ツアー、エステと美食を組み合わせた美容プランなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ◎観光事業者

Mykonote 休日は妙高へ

【多言語対応の情報発信ツール 妙高ノート】

※ ラグジュアリーな体験:豪華な体験や非日常的な体験。

(3) スキー場の戦略的な活性化

① 長期滞在型スノーリゾートづくり

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・滞在期間の長期化を目指して、付加価値の高い体験型観光の提供や地域内連携による受入体制の強化を図ります。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ④ (仮称) スノーリゾート形成計画の策定 ④ 新たな体験型観光の提供 (ヘリスキー、キャットスキー※、ナイトシューイング、スノーモービルツアーなど) ④ 外国人観光客向けスキーインストラクターの確保 ④ 人工降雪機や共通ICリフトシステムの導入検討 ・アフタースキーコンテンツの造成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 観光地域づくり法人 ◎ 観光事業者 ○ 市

② 外国人観光客の新規市場の開拓

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・台湾、香港などへの商談会や旅行会社への誘客活動を引き続き強化するとともに、北京冬季オリンピックの開催などを契機に、ウインタースポーツ人口の増加が見込まれるアジア圏からの観光誘客を進めます。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・台湾、香港、中国、シンガポールなどアジア圏に向けた誘客活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 観光地域づくり法人 ◎ 市



【ナイトスノーシューツアー】



【スノーモービルツアー】

※ キャットスキー: スキー場にある圧雪車などで、リフトやゴンドラの無いバックカントリーの雪山を雪上車に乗って、移動しながらスキーやスノーボードを楽しむツアー

主要施策3 新たな付加価値を生み出すツーリズムの確立

【施策の方向】

自然や食文化、農村、歴史文化、スポーツなどの妙高特有の多様な地域資源を活用し、満足度の高い観光商品を企画・販売することで、四季を通じた交流人口の拡大を図ります。

また、県や近隣自治体と連携し、各地域の魅力的な観光資源などをつなぐツーリズムを構築するとともに、各種イベントなどを一体的に進め、魅力的な観光圏域づくりを推進します。

併せて、都市部の子どもたちの体験旅行をはじめ、友好都市やえちご妙高会など、多様な関係団体への誘客活動を強化し、幅広い層からの交流の促進を図ります。

【施策の目標値】

項目	指標の説明	現況値 (H30)	目標値 (R6)
観光体験プログラムの造成数	観光事業者などとの連携による観光体験プログラム数	2件	5件以上
友好都市からの来訪者数	友好都市からの誘客数（健康保養地プログラム、保養地協定）	172人	350人以上

【具体的な施策と事業】

(1) 地域資源を活用した各種ツーリズムプログラムの充実

① 農業体験と組み合わせた観光の推進

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 妙高の里山の魅力や田舎ぐらし体験などの農村資源を活用し、国内外からの来訪者に安らぎやリフレッシュの機会を提供するとともに、受入家庭の確保と、積極的な誘致活動を進めます。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家民泊の受入家庭の確保 ・ 外国人観光客や教育体験旅行の誘致 ・ 一般社団法人妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会と連携した体験プログラムの企画・販売（そば打ち体験、米粉ピザづくりなど） ・ 大洞原などでの花畑を中心とした賑わいづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光地域づくり法人 ○ 観光事業者 ◎ 市民、地域団体 ○ 農業者 ○ 市

②健康保養地プログラムの推進

事業概要	
<p>・妙高の地域資源を活用した「健康保養地プログラム」の充実を図るとともに、広く健康保養地（クアオルト）としての魅力を発信し、妙高型クアオルトを推進します。</p>	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・気候療法ウォーキングと温泉水中運動などを組み合わせた健康保養地プログラムの実施 ・妙高ヘルスケアリーダーの育成・スキルアップ ・長期滞在や企業向けなど、ニーズに応じたプログラムやメニューの充実 ・妙高ならではのクアオルトの推進に向けた環境整備及び旅行商品の企画・販売 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ○観光事業者 ○市

③アウトドア・スポーツツーリズムの推進

事業概要	
<p>・妙高の雄大な自然環境を最大限に活用したイベントを開催することで、アウトドア・スポーツツーリズムを推進します。</p>	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・各種アウトドア・スポーツイベントの開催（信越五岳トレイルランニングレース、SEA TO SUMMIT（シートゥーサミット）、信越五高原ロングライド、GRINDURO（グラインデュエロ）※など 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくり法人 ○観光事業者 ◎市民、地域団体 ○市

④歴史文化のストーリーを活かした観光の推進

事業概要	
<p>・東京藝術大学との連携を強化し、芸術の郷としての妙高の魅力を発信するとともに、関山神社や旧関山宝蔵院庭園、関川関所道の歴史館、斐太歴史の里などの歴史文化資源を特色あるストーリーで結びながら一体的に活用し、観光誘客を図ります。</p>	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・東京藝術大学と連携した芸術文化事業の実施 ・歴史文化資源を活かした旅行商品や体験プログラムの造成と遺産観光ツアーなどの実施 ・歴史文化拠点の整備（関川関所周辺整備など） 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくり法人 ○観光事業者 ◎市民・地域団体 ○市

※ GRINDURO(グラインデュエロ):レースで速さを競うのと同じだけ、“楽しむこと”がモットーとされる斬新なイベント。途中で計測ポイントが決まっており、それ以外は楽しみながら走るサイクリングレース。

⑤スポーツ等合宿の郷づくりの推進

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 笹ヶ峰クロスカントリーコースやスポーツ・文化施設などの充実したトレーニング環境をはじめ、箱根駅伝常連校や実業団の合宿実績などを積極的にPRするとともに、文化系合宿の新規誘致に向けた情報発信を図ることで、「合宿の郷 妙高」の知名度の向上と定着化を進めます。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合宿誘致を促進する優遇策とPR活動の実施 ・ トレーニングなどに必要な施設整備及び維持管理 ・ 吹奏楽などの文化系合宿の誘致 ・ 妙高山麓大学駅伝大会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ○観光事業者 ○市

(2)広域観光の推進

①広域連携による観光促進事業の実施

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長野県北信地域、上越地域の近隣自治体や県と連携し、各地域の観光資源などをつなぐツーリズムを構築するとともに、各種イベントの開催や観光誘客などを一体的に進め、魅力的な観光圏域づくりを推進します。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域連携による各種観光PRの実施（信越高原連絡協議会、信越9市町村広域観光連携会議、上越・糸魚川・妙高広域観光ブランド検討会など） ・ 北陸新幹線駅での観光PRの実施（上越妙高駅、長野駅、飯山駅） ・ NEXCO東日本やJR東日本、JR西日本などとの連携による観光PRの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくり法人 ◎広域連携組織 ○市

②周辺の観光地との連携による観光ルートの造成

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長野県北信地域や上越地域などの周辺観光地との連携により、新たな観光ルートの開拓に取り組み、本市の観光入込客数の増加につなげます。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域観光周遊ルートの形成（サイクリングコースなど） ・ 広域マップなどの作成 ◎ 広域エリアを案内できるインバウンド対応ガイドの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくり法人 ◎広域連携組織 ○市

(3) 友好都市との交流促進

① 友好都市との交流

事業概要	
<p>・吹田市、北名古屋市、東海村、板橋区など友好都市で開催されるイベントに参加し、観光PRや物産販売などを実施することで、本市の認知度向上と観光誘客を図ります。また、相互のイベントなどへの参加により、市民交流の促進を図ります。</p>	
主な取組内容	主な実施主体
<p>・イベントなどの相互交流の実施 訪問:吹田産業フェア、北名古屋ふるさとマラソン大会、東海I~MOのまつり、板橋区民まつりなど 来訪: 艸原祭、越後妙高コシヒカリマラソン、健康ツアーなど</p>	<p>○観光地域づくり法人 ○観光事業者 ◎市民・地域団体 ◎市</p>

② 国際姉妹都市との交流

事業概要	
<p>・海外の姉妹都市との交流事業を継続し、小中高校生の語学力の向上やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、市民の相互交流を推進します。また、新たに、アジア圏との国際交流についても検討を進めます。</p>	
主な取組内容	主な実施主体
<p>・スイスのツェルマット、オーストリアのシュルンス・チャグンス、スロベニアのスロヴェニ・グラデツとの各種交流 ◎アジア圏との国際交流の検討</p>	<p>◎市民・地域団体 ◎市</p>



【友好都市からの健康ツアー】



【スロベニ・グラデツのライオンズクラブとの交流】

③えちご妙高会による情報発信

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・妙高市出身者や妙高のファンで組織されている「えちご妙高会」の会員に対し、ホームページなどで、本市が関係する首都圏でのイベント情報や妙高の旬な情報を発信するとともに、妙高への観光体験ツアーの企画などへ支援します。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・えちご妙高会のホームページなどを活用した本市観光情報の発信 ・同会総会などにおけるパンフレットの配布や特産品の販売 ・妙高への観光体験ツアーの企画・実施への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民・地域団体 ◎市

(4)教育体験旅行の誘致

①教育体験旅行の誘致促進

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・本市の自然、アウトドア、農業など学習に役立つ様々なコンテンツを具体的に紹介しながら、教育体験旅行の企画、販売を促進し、誘致を図ります。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・各種農業体験と農家民泊を組み合わせた教育体験旅行の企画、販売 ・スキーやアウトドアなどの学習を中心とした教育体験旅行の企画、販売 ・各種商談会への参加 ・旅行会社や学校などへの訪問活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ◎観光事業者 ○市民・地域団体

②海外からの教育体験旅行の誘致

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・海外からの教育体験旅行の誘致に向け、アジア圏をターゲットとして、海外の旅行会社や学校などへのプロモーション活動を行います。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ◎各種商談会への参加 ◎海外の旅行会社や学校などへの訪問活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ◎市 ○市民・地域団体

基本方針 2 国際観光都市としての基盤整備

主要施策 1 観光客の受入体制の充実

【施策の方向】

観光客の満足度を高めるため、魅力的な食事提供や接客サービスなど、地域全体での「妙高流のおもてなし」を確立するとともに、交通事業者などとの連携・協力により、主要な空港、新幹線駅と観光地を結ぶ二次交通の充実に取り組みます。

また、5Gの時代を見据え、ICT化に向けた環境づくりを推進するとともに、宿泊施設の改修など、観光客のニーズをとらえ、快適に滞在できる観光サービスの充実を図ります。

併せて、テレワーク※の導入など働き方改革が進められている首都圏等の企業等を対象として、ワーケーションを切り口に、本市への新たな人の流れを創出するため、受入体制の構築や新たな商品開発、プロモーションなどを行い、関係人口の創出・拡大に取り組みます。

【施策の目標値】

項目	指標の説明	現況値 (H30)	目標値 (R6)
観光客のリピート率	本市へ 2 回以上来訪している観光客の割合	80.8%	85.0%以上
二次交通路線数	妙高への来訪や市内を周遊する二次交通路線数	10 路線	13 路線以上

【具体的な施策と事業】

(1)おもてなしの心によるリピーターの確保

①おもてなしの観光受入体制の充実

事業概要	
・観光客の満足度を高めるため、観光事業者等を対象にした各種研修会を開催し、観光客の受入体制の充実を図ります。	
主な取組内容	主な実施主体
◎おもてなしの意識向上に向けた各種研修会の開催 ・地域食材を活用した食事メニューの提供（朝ごはんプロジェクト、郷土汁プロジェクト、お山のとまと食堂など）	◎観光地域づくり法人 ◎観光事業者 ◎商工事業者

※ テレワーク: 情報通信技術を活用し、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。

②おもてなし観光ガイドの育成

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民が自ら住む地域の魅力を認識し、地域資源を自慢できるよう学習機会を提供していくとともに、地域におけるボランティアガイドの養成などに取り組み、おもてなしサービスの向上を図ります。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習講座「まなびの杜」などにおける地域学習の開催 ・地域団体などによる各種ガイド研修会の開催 ・各種ガイド団体の連携・交流と組織の強化 ④（仮称）妙高流おもてなしマニュアルの作成検討 ④市民通訳ボランティアの募集・養成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ○観光事業者 ◎市民・地域団体 ○市

③特色ある温泉を活かした魅力づくり

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な泉質や効能、湯色を持つ温泉を活用した旅行商品を充実させることで、温泉地の魅力づくりを図ります。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・妙高型クアオルトや温泉ソムリエ制度など、温泉を活用した妙高独自の魅力づくり（健康保養地プログラム、健康ツアーなど） ・七五三の湯のPRの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ○観光事業者 ◎市民、地域団体 ○市

(2) 二次交通の充実

①空港・主要駅と観光地を結ぶ二次交通の充実、利便性向上

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者（鉄道、バス、タクシーなど）による空港・主要駅と観光地を結ぶ二次交通の充実に向けた取り組みを進め、観光客の観光地への来訪及び観光地間の移動の円滑化を促進します。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線と在来線との利便性の高い乗継ぎの確保 ・新幹線駅からの観光地へのシャトルバスの運行 ・観光タクシーの利用促進 ・新潟空港や富山空港からの二次交通の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ◎交通事業者 ○観光事業者 ○市

②えちごトキめき鉄道における観光列車の活用・PR

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・えちごトキめき鉄道の「雪月花」や貸切列車などを、観光コンテンツとして有効活用することで、誘客の促進を図ります。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・雪月花を活用した旅行商品の造成、販売 ・貸切列車を活用した観光プログラムの企画・販売 ⑧サイクルトレインの導入検討と試験運行 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ◎交通事業者

③広域圏周遊観光バスの運行

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・広域圏周遊観光バスの運行のほか、採算性を見込める他の周遊ルートの拡大に向けた調査研究を進めます。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ⑧広域圏周遊バスの運行に向けたニーズ調査やモデルコースの設定 ・広域圏観光バスの運行（野沢温泉、地獄谷野猿公苑など） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ◎交通事業者

④スキーエリアシャトルバスの運行

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・妙高山麓を1つのスキーエリアとしてシャトルバスを運行することにより、スキーヤーや、スノーボーダーをはじめとした観光客の利便性の向上を図ります。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・スキーエリアシャトルバスの運行（Mt. MYO KOシャトル、ロッテアライリゾートシャトル、妙高高原ライナー、市内路線バスなど） ⑧各路線の情報の一元化やバス停などの集約化 ⑧地域内におけるフリーパス券などの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ◎交通事業者 ○市

(3) 快適な観光地としての環境づくり

① 観光地としての利便性の向上

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 観光関連施設に対してW i - F i 環境の整備や案内板の多言語化、トイレの洋式化などの利便性の向上を図ります。また、I C Tを活用した観光サービスの調査・研究や導入支援を行い、快適な観光地づくりを進めます。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> 観光施設におけるW i - F i 環境や案内板の多言語化、トイレの洋式化などの整備 ⑧ I C リフト券導入、キャッシュレス決済などの導入促進 I C Tを活用した観光サービスの調査研究 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ◎観光事業者 ◎市

② 長期滞在に向けた各種受入環境の充実

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革の動きをとらえ、ワーケーションの拠点を整備するとともに、受入に必要なコーディネーターなどの人材育成や各種プログラムの充実を図ることで、長期滞在ができる環境づくりに取り組みます。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ⑧ ワーケーションに関するコーディネーターなどの人材育成や受入体制の整備 各種長期滞在プログラムの充実（新湯治、クアオルト、高原ヨガ、農業体験など） 妙高高原駅のコワーキングスペースの活用 ⑧ テレワーク研修交流施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ◎市民、地域団体 ◎市

③ 企業誘致施策による宿泊施設等の誘致促進

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 新たな宿泊施設などの誘致を進めるほか、既存宿泊施設などの改修への支援を行うことで、快適に滞在できる観光地づくりを進めます。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ホテル誘致などの働きかけ 企業振興奨励条例などによる優遇措置 各種補助金による支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◎市 ○観光事業者

(4)安全・安心な地域製品の提供

①地場製品の活用促進

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元で採れた野菜などの食材を地元のホテルや旅館などで提供する地産地消の仕組みを構築するとともに、本市で生産される素材を生かしたお土産品の販売を支援します。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域食材を活用した食事メニューの提供による地産地消の推進（朝ごはんプロジェクト、郷土汁プロジェクト、お山のとまと食堂など） ・ 妙高産のお土産品(特産品)の情報発信や販売促進 ⑧生産者と観光事業者との流通の仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ◎観光事業者 ◎商工業者 ◎農業者

②ふるさと納税返礼品によるPR

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 妙高山麓ゆめ基金への寄付の返礼品として、魅力ある地域産品を提供し、妙高ブランドの知名度の向上を図ります。また、「ふるさと納税ツアー」などの返礼品も検討します。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力ある返礼品の提供（信越五岳トレイルランニングレースの出場権など） ⑧ふるさと納税ツアーの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくり法人 ○商工業者 ◎市

③地域産品の「妙高あっぱれ逸品」を活用した観光振興

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 妙高で生まれた安全・安心な地域産品を「妙高あっぱれ逸品」として認定し、お土産品などとして、市内外へ広くPRし、販売促進を図ります。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・ 妙高あっぱれ逸品の登録、PR、販売 ・ 各種イベントにおける販売促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくり法人 ◎商工業者 ◎市



【妙高山麓直売センターとまと】



【四季彩館ひだなん】

(5) 観光客に対する安全・安心の確保

①安全・安心に係る情報の提供や体制の整備

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害や事故、集団感染症などに関する情報を迅速に把握し、正確な情報を提供するとともに、観光客の安全・安心を確保するための情報発信や避難体制等の整備を図ります。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設情報の発信 ・観光客への安全・安心に係る情報の提供 ・避難体制やマニュアルの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ○観光事業者 ◎市

②登山者への安全対策

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・天候や登山情報を、ホームページなどで発信するとともに、登山者の遭難防止のための取組や救助体制の充実を図ります。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・燕温泉などへの登山ゲートや登山届記載台の整備 ⑧ホームページや登山道入口などにおける登山道情報の発信 ⑧ドローン等を活用した登山道監視や荷物運搬などの実証実験 ⑧スマートフォンなどを活用した登山者の遭難対策システムの検討 ・災害、緊急時の対応マニュアルによる訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくり法人 ◎市

③スキー場の安全対策

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・妙高市スキー場協議会が中心となり、スキー場の安全対策や開発などの調整を行っていくとともに、各索道事業者によるタイムリーなスキー場情報を発信します。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・妙高市スキー場協議会による各種事業の実施 (安全点検や安全対策の啓発、スキー場の整備箇所 の点検、管内スキー場視察、管外スキー場視察、 遭難時における対応など) ・各スキー場による情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光事業者 ◎市

主要施策 2 観光施設の整備

【施策の方向】

山岳観光による誘客拡大を図るため、妙高戸隠連山国立公園の拠点として新たに整備される新ビジターセンターを中心に、いもり池周辺の環境整備や民間施設の誘致などに取り組むとともに、燕温泉妙高登山センター（仮称）などの観光施設の計画的な整備や利用者ニーズを踏まえた適切な維持管理を行います。

また、妙高市観光のゲートウェイとして、新たに拡張した道の駅あらいを、周遊・滞在型観光の拠点と位置づけ、国内外からの観光客に向けた観光案内機能の強化を図ります。

【施策の目標値】

項目	指標の説明	現況値 (H30)	目標値 (R6)
主要な観光施設の利用者数	国立公園施設年間施設利用者数 (A: 苗名滝、B: 高谷池ヒュッテ、C: ビジターセンター)	16万5130人 A: 89,130人 B: 3,810人 C: 72,190人	19万8000人 A: 105,000人 B: 6,000人 C: 87,000人以上
観光施設整備数	計画期間内に整備した施設の数	—	5箇所以上

【具体的な施策と事業】

(1) 国立公園 妙高の魅力向上

① 国立公園計画に基づく施設整備

事業概要	
・ 妙高戸隠連山国立公園の魅力向上を図り、地域の活性化を促進させるため、利用者ニーズをもとに、必要に応じて、国立公園計画の変更を環境省と協議を行いながら、施設整備を実施します。	
主な取組内容	主な実施主体
・ 妙高戸隠連山国立公園の公園計画に基づく施設整備（高妻山登山道の検討）	◎市

②観光案内看板やビュースポットの整備

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や歴史文化などの景観に配慮した、わかりやすく統一感のある観光案内看板の改修、整備を行うとともに、ビュースポット周辺の整備を図ります。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内看板の改修、整備（多言語化やピクトグラムなどを活用したわかりやすい看板の制作） ⑧ビュースポット周辺の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくり法人 ◎市

③山岳景観の魅力向上、発信

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・山岳などの自然景観の魅力を感じることができるコンテンツの開発やアウトドア雑誌、ウェブなどによる情報発信を行うとともに、高谷池ヒュッテでの誘客に向けた体験プログラムの造成やイベント開催に取り組みます。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ⑧高谷池ヒュッテを活用した体験プログラムの造成、イベント開催（星空観察会、ミニクラシックコンサートの開催など） ・アウトドア雑誌やウェブなどによる情報発信 ⑧VR※による山岳景観の疑似体験 ・アウトドア系のイベントや商談会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地域づくり法人 ◎市

(2)観光拠点施設などの整備

①新ビジターセンター周辺整備

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・環境省が妙高戸隠連山国立公園の拠点として新たに整備する新ビジターセンター周辺の環境整備を進めます。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ⑧ビジターセンター周辺整備（駐車場、広場など） ⑧民間施設の誘致（ショップ、テレワーク施設など） 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光事業者 ◎市

※ VR:「Virtual Reality」の略で、「人工現実感」や「仮想現実」と訳される。VRにより、限りなく実体験に近い体験が得られる。

②道の駅あらいの機能強化

事業概要	
・妙高市観光のゲートウェイである道の駅あらいを周遊・滞在型観光の拠点とし、外国人観光客にも対応した観光案内機能の強化を図ります。	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅を拠点とした観光地域づくり（情報発信、案内機能の強化、街なかなどへの周遊・体験型観光の商品化） ⑧農家レストランや直売所での地場産品や農産物の消費拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくり法人 ○商工事業者 ◎市



【拡張した道の駅あらい 四季彩館みょうこう】

③観光施設の整備

事業概要	
・妙高の優れた景観や温泉をはじめ豊かな地域資源を有効に活用し、回遊性の高い滞在型観光を推進するため、各種観光施設整備を進めます。	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・苗名滝遊歩道整備 ・妙高山系登山道整備 ・常設トレイルランニングコースの整備 ⑧笹ヶ峰高原乙見湖周辺にキャンプサイト等の園地整備 ⑧燕温泉妙高登山センター（仮称）の整備 	◎市

④民間事業者などとの連携による新たな魅力づくり

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民・地域団体や観光事業者などと連携し、登山道や笹ヶ峰高原内の遊歩道、夢見平遊歩道などの整備を進めるとともに、トレイルランニングコースを活用した新たな魅力づくりを進めます。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・市民・地域団体や観光事業者の連携による遊歩道維持管理 ⑧トレイルランニングクリニックの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光事業者 ◎市民・地域団体 ◎市

(3)観光施設の適切な維持管理

①公衆トイレや登山道などの施設の維持管理

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民や地域団体との協働により、来訪者が、安全に安心して楽しむことができる登山道や遊歩道、公衆トイレなどの観光施設について適切な維持管理を行います。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・公衆トイレや登山道など、観光施設の適切な維持管理、改修、更新 ⑧山岳用簡易トイレの設置、利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくり法人 ○観光事業者 ○市民・地域団体 ◎市

②鉱泉源の保護管理

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・本市の重要な地域資源である温泉の源泉や施設などを確保するため、入湯税を活用し、関係団体が行う鉱泉源の保護管理施設整備に対し支援します。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・鉱泉源の維持管理工事への補助 ・鉱泉源の災害復旧工事への補助 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光事業者 ◎市

(4) 自然環境の保護・保全

① 貴重な動植物の保護対策

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・環境省との連携により、国内最小個体群で生息している火打山周辺のライチョウの保護など、貴重な動植物の保護・保全を進めます。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・生命地域妙高環境会議と連携したライチョウの保護に向けた取組（調査、対策の検討、入域料の活用、クラウドファンディング、など） 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民・地域団体 ◎市



【絶滅が危惧される火打山のライチョウ】



【入域料の徴収・活用】

② 自然環境の保護、保全活動の取組

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・外来生物の駆除活動を行うとともに、高山植物の盗掘防止に向けたパトロールと入山者などへの啓発活動を実施し、自然環境の保護・保全活動を進めます。 	
主な取組内容	主な実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・生命地域妙高環境会議と連携した保護、保全活動の取組（オオハンゴウソウやスイレンなどの外来生物の駆除活動、高山植物の盗掘防止パトロール、入山者などに対する啓発活動） 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民・地域団体 ◎市

③自然エネルギーの利活用と温室効果ガスの削減

事業概要	
<p>・地熱、水力などの自然エネルギーの有効活用に向けた調査研究を行うとともに、温室効果ガスの排出を削減するための各種取組への支援を行うことで、環境に配慮した持続可能な観光地づくりを進めます。</p>	
主な取組内容	主な実施主体
<p>④自然エネルギーの利活用に向けた調査研究</p> <p>・高谷池ヒュッテなどでの自然エネルギーの活用</p> <p>④温室効果ガスの排出を削減する市民ぐるみの取組の検討（笹ヶ峰高原への乗入規制や電気自動車のシェアシステムの導入検討など）</p>	<p>○観光地域づくり法人</p> <p>○市民・地域団体</p> <p>◎市</p>

第5章 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、観光地域づくり法人、観光事業者、市民などが観光振興の重要性や相互の役割を理解し、連携しながら一体的に取り組むことが重要であるため、協働による推進体制をより強化し、地域資源を活かした観光産業の振興を図ります。

観光施策を推進していくためには、安定的な財源が必要となります。今後、本市の財政がますます縮小していくなかで、観光地経営を担う観光地域づくり法人が、自立し独立した事業展開ができるよう支援していくとともに、観光における課題に的確に対応し、満足度の高い観光地づくりを進めるため、新たな独自財源の確保に向けた取組を検討していきます。

また、目標値の達成状況や各事業の進捗状況を定期的に評価し、取組内容を改善しながら、実効性の高い施策展開を図ります。

【観光推進体制】

関係団体	主な役割
観光地域づくり法人	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングなどによる戦略的な観光地づくりの実施 ・外国人観光客の拡大に向けた企画及び事業の実施 ・観光情報の発信や観光案内 ・観光イベントの開催 ・観光客と観光事業者間のコーディネート
観光事業者、交通事業者、商工事業者、農業者	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客への満足度を高めるためのサービスの提供 ・受入体制の充実（おもてなしサービスの向上など） ・地域資源を活用した食材の提供や再発掘、情報発信機能の充実 ・安心安全な地場食材の生産、提供
市民・地域団体	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客を迎え入れるおもてなしサービスの向上や体制の整備 ・市民や団体による観光客向けのガイドの充実 ・地域の魅力の認識と地域資源の再発掘、活用
広域連携組織	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村との広域連携による観光促進事業の実施 ・周辺観光地との連携による観光ルートの造成 ・新幹線駅（長野駅・飯山駅・上越妙高駅）を活用した連携の強化
妙高市	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興計画の策定及び進行管理、事業効果検証 ・各種観光情報の発信 ・観光大使、観光PRキャラクターによる情報発信 ・観光振興を図るための施設環境整備 ・関係行政機関などとの連携・連絡調整 ・観光地域づくり法人や観光事業者などへの支援